

## SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年12月21日

事業者名: 学校法人神谷学園 東海学院大学/東海学院大学短期大学部

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	環境負荷を低減し、全ての人の健康に寄与するため、学内照明のLED化、ごみの分別、キャンパス内の全面禁煙、コピー用紙の使用の削減による環境負担軽減を重点的な取組として実施している。	⑬気候変動に具体的な対策を、⑪住み続けられるまちづくりを、⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年度キャンパス内照明をLEDへ取替</li> <li>・ごみ分別のBOXを設置</li> <li>・2015年度から健康増進法に基づきキャンパス内の全域が禁煙</li> <li>・コピー用紙の使用を削減</li> </ul>	指標	電力使用量、ペットボトル分別量、禁煙率、紙使用量
				目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力使用量 R7年度までに▲5% (R4年度比)</li> <li>・リサイクル率を上げるため、R6年度までにペットボトル分別量を把握、その後改めてリサイクル率の目標を設定</li> <li>・禁煙率 前年度比増加</li> <li>・紙使用量 R7年度までに▲3% (R4年度比)</li> </ul>
社会	附属図書館を学外者に開放することにより、地域住民および卒業生の調査研究や生涯学習を支援している。東海えほんの森やあそびの森では、乳幼児や保護者の方に絵本やあそびを楽しむ場・交流の場を提供、本学で幼児教育を学ぶ学生によるイベントを開催して親子との交流を図り、教育実践の場としても活用している。公開講座では、地域の方々に学ぶ機会を提供している。また、大学院心理臨床センターでは、地域で心の悩みを抱えている方を対象とした相談を行っている。救急救命分野の学生は消防団活動、応急手当普及啓発活動を行っている。	④質の高い教育をみんなに、⑪住み続けられるまちづくりを、③すべての人に健康と福祉を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子教室「あそびの森」の開催</li> <li>・東海えほんの森「お話し会」の開催</li> <li>・大学院心理臨床センターの総面接回数310回、新規相談受理件数5件 (R4実績)</li> <li>・各務原市消防本部機能別消防団活動に伴う応急手当普及啓発活動の推進 (R5機能別消防団学生登録者数15名)</li> </ul>	指標	附属図書館学外利用者数、東海えほんの森「お話し会」開催回数と参加者数、親子教室「あそびの森」開催回数と参加者数、公開講座参加者数、大学院心理臨床センター新規相談受理件数、応急手当普及啓発活動への従事
				目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館学外入館者数2000名/R6年度</li> <li>・東海えほんの森「お話し会」3回開催、親子20組参加/R6年度</li> <li>・親子教室「あそびの森」5回開催、親子50組参加/R6年度</li> <li>・公開講座参加者数300名/R6年度</li> <li>・心理臨床センター新規相談受理件数15件以上/年度</li> <li>・登録学生の応急手当普及啓発活動従事回数1回以上/年度</li> </ul>
経済	経済・環境・社会全般にわたる取組みとして、管理栄養学科の規格外農産物を活用した取組みがある。地産地消の各務原にんじんの特産化・ブランド化を進める産学官連携事業、食品ロス削減を図る規格外野菜を利用した料理教室、フレイル予防のためのレシピ・Café・体操、拠点としての「さらまんじゅ・とーかい(ぎふ食べきり運動協力店)(ぎふプラスマ!)(ぎふ食と健康応援店)」の開設など、岐阜県、各務原市、ぎふ農業協同組合、各務原商工会等と連携し幅広い取組みを進めている。	③すべての人に健康と福祉を、⑫つくる責任 つかう責任、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規格外各務原にんじんの商品化 58商品 (R4現在)</li> <li>・学内の食品ロスの堆肥化 年間12トン (R2現在)</li> <li>・各種啓発講座延べ参加者数7,400名 (R4実績)</li> </ul>	指標	規格外野菜の商品化数、学内で発生する食品ロス量、啓発講座参加者数
				目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規格外農産物の商品化数を年間15品以上</li> <li>・学内で発生する食品ロス量を年間600kg削減 (2030年度までに半減)</li> <li>・各種啓発講座参加者数を10,000名</li> </ul>
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>			
	チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の会議である教授会、役職者会議において、学長から理念、重点項目を周知し推進。</li> <li>・毎年度自己点検評価を通じて、検証・展開していく。</li> </ul>			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPは現在更新中。大学の掲示版にSDGsへの取組みを掲示。</li> <li>・管理栄養学科を中心に活動を検討、推進。会議、セミナー・フォーラム、マスコミを通じて情報発信し、アピールしている。</li> </ul>			